

計画改定に関する調査について

医療提供体制の調査・分析を行い、現行計画の進捗状況の評価と、施策や指標の見直しについて検討を行います。

併せて、循環型地域医療連携システムの構築にあたり、医療機関ごとの具体的な役割分担を明確に位置づけるため、医療機能や連携の実態に関する事項や、地域医療構想で示した必要な病床機能を確保するための病床機能の転換に向けた医療機関の意向、課題等についても調査します。

また、県民の適切な受療行動を促進する施策を検討するため、県民アンケートを実施します。

1 医療機関等に対する調査

(1) 対象

病院、一般診療所、在宅療養支援歯科診療所、訪問薬剤管理指導対応薬局、訪問看護ステーション（約 6,100 施設）

(2) 手法

書面による調査（6月中旬発送予定）

(3) 主な調査項目

○病院については、質問数が多いため、計 3 分冊の調査票を用いて実施します。

- ①医療機関の概況、地域連携、病床転換、がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、救急、災害、周産期、小児
- ②精神疾患（認知症を含む）
- ③在宅医療

※質問項目は以下のとおりです。（詳細は、別添調査票を参照）

- ・ 5 疾病・4 事業に関する診断、治療等の実施状況について
- ・ 在宅医療の体制
- ・ 退院支援や地域との連携について 等

○診療所等については、主に在宅医療に関する項目について、各施設の役割に応じた質問で構成された調査票を用いて実施します。

2 県民を対象とした調査

(1) 対象及び手法

県民1万人程度に対するインターネットによるアンケート

(2) 主な調査項目

- ・日頃、初診で受診している医療機関の種類
- ・ジェネリックの選択状況 等 (詳細は、検討中)